



# ATIR-R820 ATIR-R840

## 取扱説明書

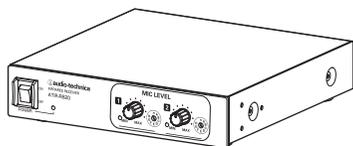
赤外線コードレスレシーバー

お買い上げありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

### 同梱品を確認する

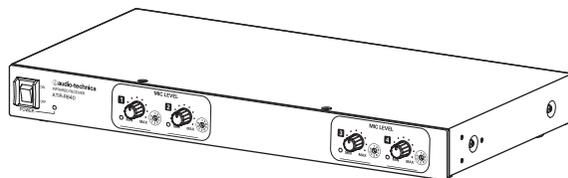
本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までご連絡ください。

ATIR-R820



- 赤外線コードレスレシーバー(ATIR-R820)
- ラックmountアダプター(長)
- ラックmountアダプター(短)
- ユーロブロックコネクター(3ピン)×3
- 電源ケーブル
- 3P-2P 電源プラグ
- ラックmountアダプター用取り付けねじ×6
- CHシール
- 取扱説明書 - 保証書付き -(本書)

ATIR-R840



- 赤外線コードレスレシーバー(ATIR-R840)
- ラックmountアダプター(短)×2
- ユーロブロックコネクター(3ピン)×4
- ユーロブロックコネクター(5ピン)
- 電源ケーブル
- 3P-2P 電源プラグ
- ラックmountアダプター用取り付けねじ×6
- CHシール
- 取扱説明書 - 保証書付き -(本書)

- 隣接した部屋と混信しない赤外線伝送方式により、安定した運用を実現
- 8つのチャンネルから受信周波数を選択できる切換スイッチを採用
- MIX入出力端子により、8本の出力をまとめて1本で出力可能

# 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

**警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

**注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## 本体について

### 警告

- 付属の電源ケーブル以外使用しない  
電流量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない  
事故や火災の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない  
異常に気づいたら、お買い上げの販売店か当社ホームページ記載の各営業所に修理を依頼してください。
- 分解や改造はしない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電やけがの原因になります。
- 水をかけない/水滴やみずしぶきのかかる場所に置かない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 布などで覆わない  
過熱による火災やけがの原因になります。

### 注意

- 不安定な場所に置かない  
転倒などによりけがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない  
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない  
変形、故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない  
変形、故障の原因になります。
- 密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない  
変形、故障の原因になります。
- 調理台の近くなど油、蒸気、熱のあたる場所には置かない  
変形、故障や不具合の原因になります。
- 本製品の上に物(花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属)などを置かない  
万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

## 電源ケーブルについて

### 警告

- 表示している電源電圧以外で使用しない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない  
電流量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない  
異常に気づいたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店か当社ホームページ記載の各営業所に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- ケーブルは釘などで固定しない、束ねたまま使用しない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む  
過熱による火災など事故の原因になります。
- ケーブルを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする  
断線、故障の原因になります。
- ケーブルの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない  
感電によるけがの恐れがあります。
- 分解や改造はしない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などで覆わない  
事故や火災の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る  
長い間掃除をしないと、火災など事故の原因になります。
- アース線は、必ずコンセントの接続前に取り付け、コンセントを外した後に取り外す  
火災の原因になることがあります。安全のため、必ず手順を守ってください。(3P-2P 電源プラグ使用時)
- 接地(アース)極付コンセント以外には接続しない  
火災の原因になることがあります。
- すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにする  
電源スイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

### 注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く  
火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。また、省エネルギーにご配慮ください。
- 足に引っ掛かりやすい場所にケーブルを引き回さない  
故障や事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない  
変形、故障の原因になります。

## 使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ケーブルの配線上に大型電気機器があると、ノイズが発生する可能性があります。その場合は、ノイズが発生しなくなるまで離して配線してください。
- 設置した受光ユニットが使用者や障害物の影にある場合、受信しません。受光ユニットを設置する際は、マイクロホンから複数の受光ユニットが見えるように設置してください。

## 受信周波数

本製品は下記のチャンネルに対応しています。

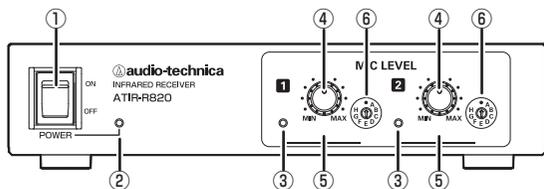
Ach	3.04MHz	Ech	2.06MHz
Bch	3.48MHz	Fch	2.48MHz
Cch	3.70MHz	Gch	2.70MHz
Dch	3.84MHz	Hch	2.82MHz

※工場出荷時は、「●(チャンネル設定無し)」に設定されています。

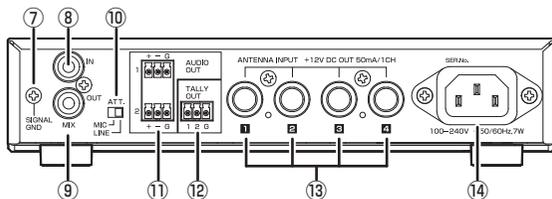
# 各部の名称と機能

## ATIR-R820

### 正面

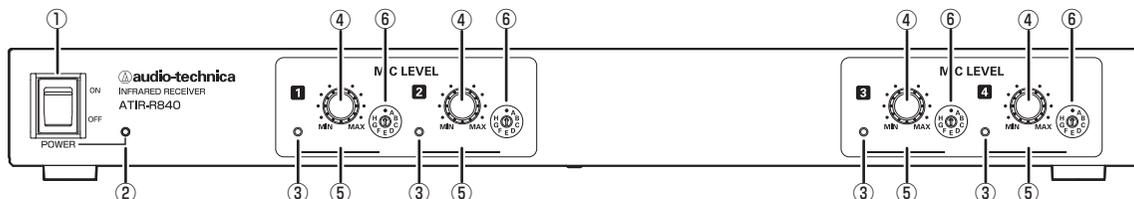


### 背面

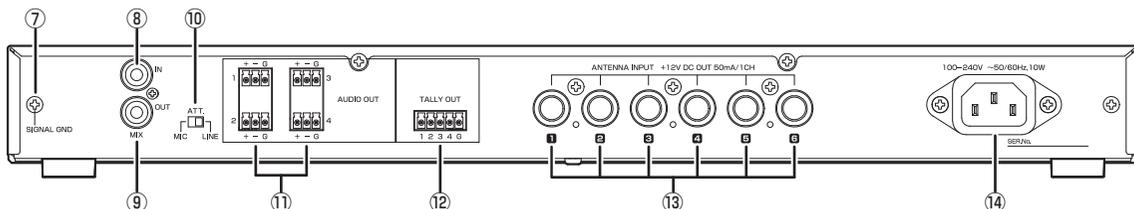


## ATIR-R840

### 正面



### 背面



#### ①電源スイッチ

電源のON/OFFを行います。

#### ②電源インジケータ

電源をONにすると青色に点灯します。

#### ③チャンネルインジケータ

チャンネル切換スイッチで設定したチャンネルのマイク信号を受信すると、緑色に点灯します。

#### ④マイクボリューム

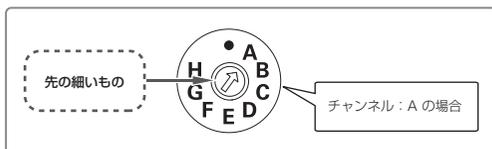
チャンネル切換スイッチで設定したチャンネルのマイク音量を調整します。

#### ⑤CHシール貼付位置

必要に応じて付属のCHシールを貼り付けます。

#### ⑥チャンネル切換スイッチ

使用するチャンネルをA～Hより選択し設定します。設定する際は、先の細いものでスイッチを回します。



#### ⑦シグナルアースグランド端子

⑧MIX 入力端子 (RCA)  
複数のレシーバーを接続する際に使用します。

#### ⑨MIX 出力端子 (RCA)

複数のレシーバーを接続する際に使用します。

#### ⑩マイク / ライン出力切換スイッチ

出力を切り換えます。

※工場出荷時は、「ライン」に設定されています。

#### ⑪出力端子

各チャンネルをバランス出力します。

#### ⑫TALLY OUT (タリーアウト)

各チャンネルの受信状態を出力します。

※工場出荷時には注意シールが貼られています。使用する際は剥がしてください。

#### ⑬入力端子

受光ユニットに接続した同軸ケーブルを接続します。

#### ⑭AC インレット端子

付属の電源ケーブルを使用し、AC100V 50/60Hzの電源に接続してください。

※付属の3P-2P電源プラグを使用する場合は、アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。  
また、アース接続を取り外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

※本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。

# 接続のしかた

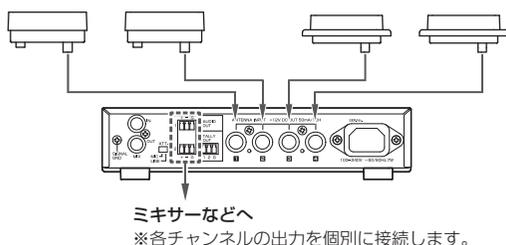
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- 接続するケーブルは市販の75Ωの同軸ケーブル(5C-2Vなど)を用意し、100m以内でご使用ください。
- 受光ユニットを複数個取り付ける際は、すべてのケーブルを同じ長さにしてください。(推奨差:5m以内)
- ケーブルが長すぎたり、長さが異なると雑音が多くなる場合があります。
- 混合分配器 ATIR-D640 の「ケーブル長補正機能」を使用する場合は、同じ長さにそろえる必要はありません。
- 同軸ケーブルは、ほかのケーブルと一緒に束ねて配線しないでください。雑音の原因となります。

- ①電源ケーブルを接続し、AC100V 50/60Hzの電源に接続します。  
※必要に応じて、3P-2P電源プラグを使用します。
- ②接続する機器の入力感度に合わせて、本製品のマイク/ライン出力切換スイッチを切り換えます。
- ③本製品の出力端子と接続する機器の入力端子を接続します。
- ④本製品の入力端子と受光ユニットを同軸ケーブルで接続します。
- ⑤本製品の電源をONにします。
- ⑥本製品の電源インジケータが青色に点灯します。

## ATIR-R820

受光ユニットを最大4台まで接続できます。

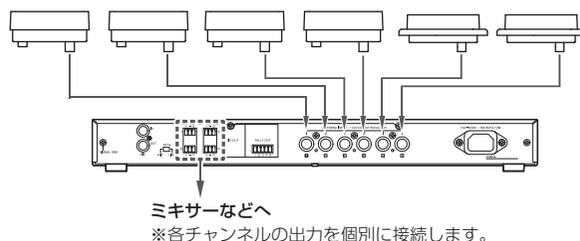
### ■接続例



## ATIR-R840

受光ユニットを最大6台まで接続できます。

### ■接続例

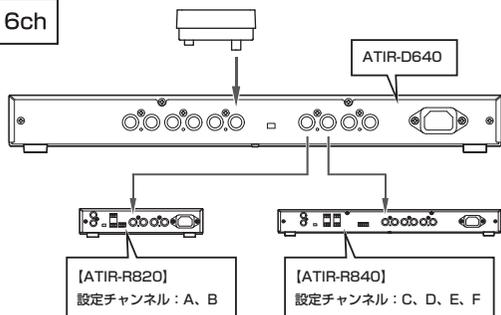


## ATIR-D640 を使用する場合

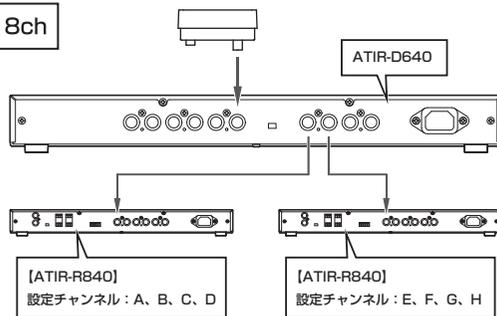
レシーバーを複数用意し ATIR-D640 を使用することで、受光ユニット1台で5ch以上の受信が可能になります。

### ■接続例

最大6ch



最大8ch



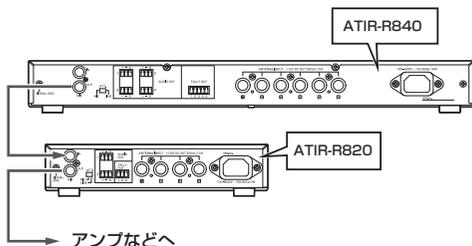
※ATIR-D640を増やすことで受光ユニットをさらに増設することができます。

## MIX 出力について

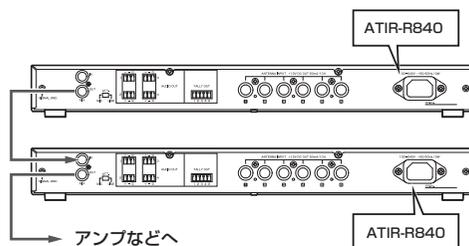
レシーバーを複数用意し、MIX 出力端子と MIX 入力端子を接続することで、すべてのチャンネルの音声がミックスされて出力されます。

### ■接続例

6ch

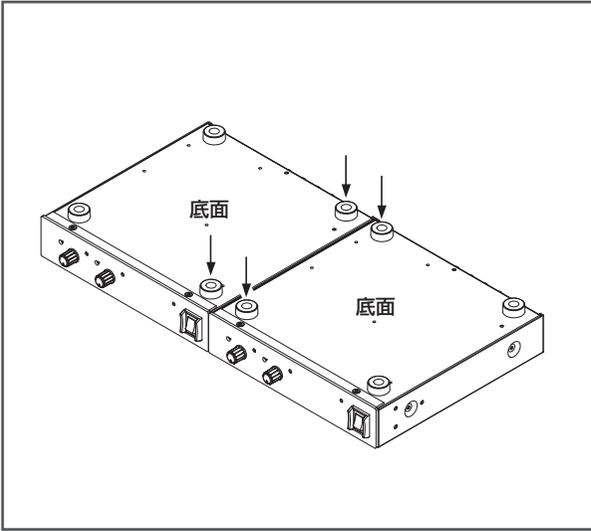


8ch

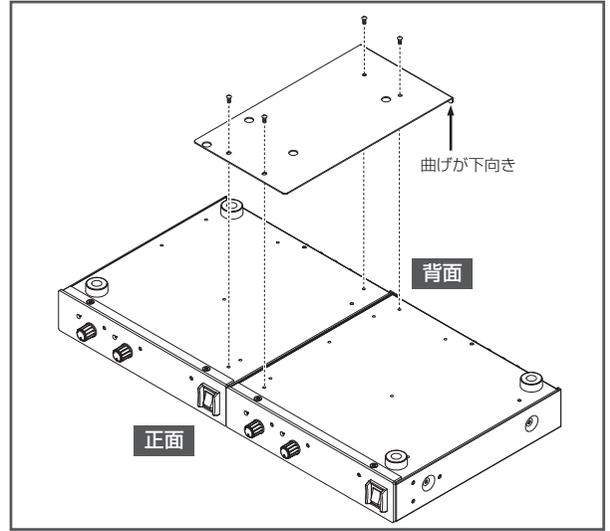


## 連結プレート(別売)の使いかた

ATIR-R820 を同じ部屋で 2 台同時に使用される場合、別売の連結プレート(RP1000)を取り付けることで、2 台を横並びに固定することができます。  
※プラスドライバーを用意してください。



①レシーバー 2 台を並べた際に中央に位置する 2 個のゴム足のねじをレシーバー毎に取り外し、ゴム足を取り外します。



②連結プレートを、①で取り外したゴム足のねじで取り付けます。

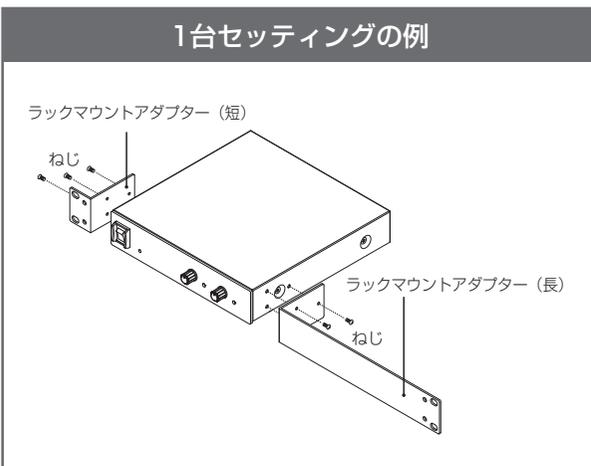
※連結プレートには方向があります。下向きの曲げの部分がレシーバー背面にくるようにしてください。

※ねじは 4 本すべてしっかり取り付けてください。

## ラックマウントアダプターの使いかた

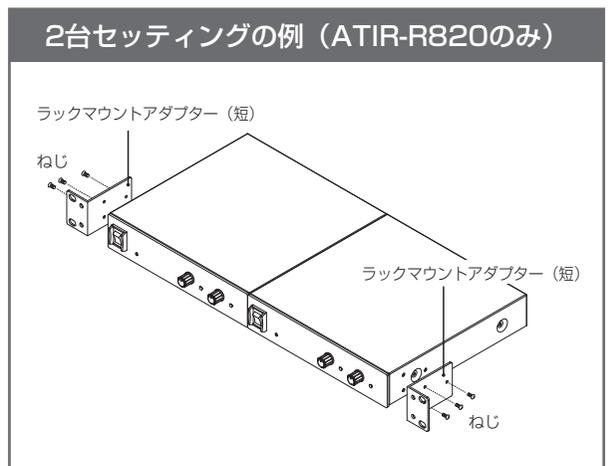
ラックマウントする場合、付属のラックマウントアダプターを取り付けてください。  
※プラスドライバーを用意してください。

レシーバーの側面に、ラックマウントアダプターをラックマウントアダプター用取り付けねじで取り付けます。



※ATIR-R820 に付属のラックマウントアダプターは、アングルの長さが長いタイプと短いタイプの 2 種類あります。側面どちらにでも取り付けられます。

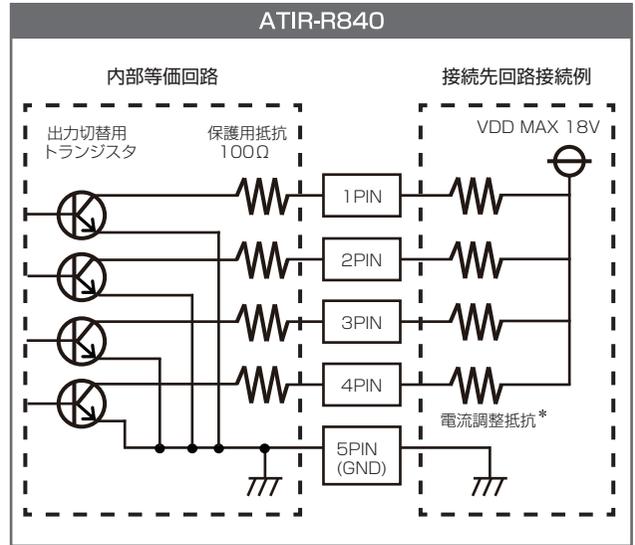
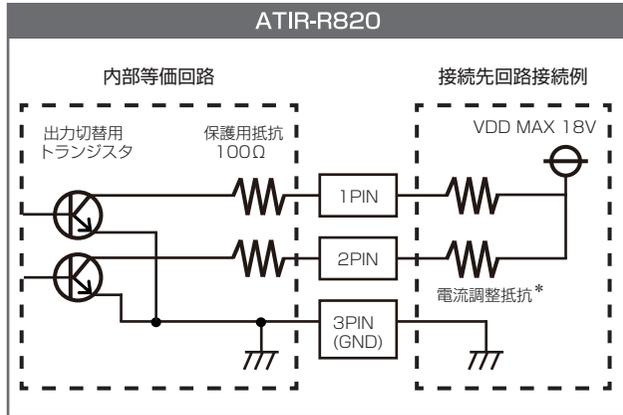
※ラックマウントアダプター用取り付けねじは左右各 3 本ずつ、すべてしっかり取り付けてください。



※連結プレート(別売)を取り付け、ラックマウントアダプター(短)を左右に取り付けます。

# TALLY OUT (タリーアウト) について

- オープンコレクタ方式です。
- 配線は必ず定格内で行ってください。定格外の接続による破損については保証いたしかねます。(最大定格電圧18V、電流20mA)



\* : お客様の機器仕様に合わせて抵抗値を選定ください。  
 [LO時の電圧計算式 (電流調整抵抗をRとする)]  
 $100\Omega \sim R$ 間電圧 =  $VDD \times 100\Omega / (100\Omega + R)$   
 ※Rを大きくすれば大きくするほどLO電圧は小さくなります。  
 [例] VDD : 12V, R : 10kΩの場合  
 $100\Omega \sim 10k\Omega$ 間電圧 =  $12V \times 100\Omega / (100\Omega + 10,000\Omega)$   
 = 約0.118V

- 各PINの仕様は下記出力表を参照してください。

## ■出力表 (ATIR-R820)

PIN	チャンネル状態			
	受信無し	Ch1のみ受信	Ch2のみ受信	全Ch受信
1PIN	オープンコレクタ	LO	オープンコレクタ	LO
2PIN	オープンコレクタ	オープンコレクタ	LO	LO
3PIN	GND	GND	GND	GND

## ■出力表 (ATIR-R840)

PIN	チャンネル状態					
	受信無し	Ch1のみ受信	Ch2のみ受信	Ch3のみ受信	Ch4のみ受信	全Ch受信
1PIN	オープンコレクタ	LO	オープンコレクタ	オープンコレクタ	オープンコレクタ	LO
2PIN	オープンコレクタ	オープンコレクタ	LO	オープンコレクタ	オープンコレクタ	LO
3PIN	オープンコレクタ	オープンコレクタ	オープンコレクタ	LO	オープンコレクタ	LO
4PIN	オープンコレクタ	オープンコレクタ	オープンコレクタ	オープンコレクタ	LO	LO
5PIN	GND	GND	GND	GND	GND	GND

※出力切替用トランジスタとハーネス間に保護用抵抗を設けているためLO出力時は約100Ωの抵抗値を持ちます。

- 使用されないPINはそのまま開放してください。その際、ハーネスの導線が誤って接触しないような処理を行ってください。
- 配線後は必ず動作確認を行ってください。

# 故障かな？と思ったら

赤外線マイクロホンや受光ユニット、接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

症状	ご確認ください	対処方法
電源インジケータ ーが点灯しない	電源ケーブルが、本製品およびコンセントに接続されていますか？	→電源ケーブルをしっかりと接続してください。
	本製品の電源は入っていますか？	→電源スイッチを ON にしてください。
	本製品と赤外線マイクロホンのチャンネルの設定は合っていますか？	→チャンネルを合わせてください。
	本製品の出力の切り換えは合っていますか？	→接続した機器に合わせて、マイク/ラインの出力設定を切り換えてください。
	本製品や接続した機器のボリュームを小さくしすぎていませんか？	→ボリュームを調整してください。
	受光ユニットと赤外線マイクロホンとの間に障害物はありませんか？	→障害物を取り除くか、本製品を見通せる場所で使用してください。または、受光ユニットを増設してください。
	受光ユニットと赤外線マイクロホンとの距離が離れすぎていませんか？	→受信範囲内で使用してください。または、受光ユニットを増設してください。
	受光ユニットの近くに、ノイズ源となる機器がありませんか？	→正常に動作する場所まで受光ユニットを離して設置してください。
	同軸ケーブルを、ほかのケーブルなどと一緒に束ねて配線していませんか？	→ほかのケーブルとは一緒に束ねず、離して配線してください。
	同軸ケーブルの長さが長すぎませんか？	→最長 100m 以内で配線してください。
・受信しない ・音にノイズが乗る ・音が途切れる	受光ユニットを複数個設置している場合、同軸ケーブルの長さをそろえていますか？	→同軸ケーブルの長さをそろえてください。 ※「接続のしかた」をご確認ください。
	混合分配器 ATIR-D640 を使用している場合、「ケーブル長補正機能」が正しく設定されていますか？	→「ケーブル長補正機能」の設定をやり直してください。
	症状が良くならない場合は	→お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

## 赤外線マイクロホンシステム互換表

本システムは下表を参考に、製品を組み合わせて使用してください。

レシーバー	マイクロホン				受光ユニット				混合分配器	
	ATIR-T88	ATIR-T85	ATIR-T880	ATIR-T850	ATIR-A40	ATIR-A41	ATIR-A400	ATIR-A410	ATIR-D63	ATIR-D640
ATIR-R84	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○
ATIR-R82(E)	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○
ATIR-R82(G)	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○
ATIR-R840	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎
ATIR-R820	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎

◎：推奨の組み合わせです。

○：互換性があります。

※混合分配器 **ATIR-D63** と **ATIR-D640** は同時に使用することはできません。

オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。お買い上げの製品に万一異常が生じた場合は、この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。

なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品（補修用性能部品の）最長保有年限は製造打切後6年です。

### 保証規定（必ずお読みください）

保証期間中に取扱説明書に従った、正常なご使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。お買い上げのお店、当社営業所または当社ホームページのサポートまでご連絡ください。また、修理の際オーディオテクニカの判断で製品交換させていただくことがありますのでご了承ください。以下の場合は保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。

#### 修理品の送料

●保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために修理品を郵送、託送される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、元通りに梱包してお送りください。

#### 修理品の保証

●修理後、同一個所に同一の故障を生じた場合は、保証期間を超過しても修理完了日より3ヶ月以内に限り無料で修理いたします。

#### その他

- ①この保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
- ②この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ③本保証書は再発行いたしませんので、紛失ならぬよう大切に保管してください。

転載不可

# テクニカルデータ

## ATIR-R820

受信周波数	: Ach(3.04MHz)、Bch(3.48MHz)、 Cch(3.70MHz)、Dch(3.84MHz)、 Ech(2.06MHz)、Fch(2.48MHz)、 Gch(2.70MHz)、Hch(2.82MHz)
受信チャンネル数	: 2 チャンネル
入力レベル	: MIX 入力 -12dBV
出力レベル	: バランス出力 (VOL MAX) マイク -35dBV ライン 4dBV MIX 出力 -8dBV
入力端子	: BNC コネクター ×4
消費電力	: 7W
電源	: AC100V、50/60Hz ※電気定格およびモデル名は、本製品の底面に 表示があります。
外形寸法	: H44×W210×D210mm
質量	: 約 1.3kg
付属品	: 電源ケーブル、3P-2P 電源プラグ、CH シール、 ユーロブロックコネクター(3ピン)×3、 ラックマウントアダプター(長)、 ラックマウントアダプター(短)、 ラックマウントアダプター用 取り付けねじ×6
別売	: 連結プレート(RP1000)

## ATIR-R840

受信周波数	: Ach(3.04MHz)、Bch(3.48MHz)、 Cch(3.70MHz)、Dch(3.84MHz)、 Ech(2.06MHz)、Fch(2.48MHz)、 Gch(2.70MHz)、Hch(2.82MHz)
受信チャンネル数	: 4 チャンネル
入力レベル	: MIX 入力 -12dBV
出力レベル	: バランス出力 (VOL MAX) マイク -35dBV ライン 4dBV MIX 出力 -8dBV
入力端子	: BNC コネクター ×6
消費電力	: 10W
電源	: AC100V、50/60Hz ※電気定格およびモデル名は、本製品の底面に 表示があります。
外形寸法	: H44×W420×D210mm
質量	: 約 2.4kg
付属品	: 電源ケーブル、3P-2P 電源プラグ、CH シール、 ユーロブロックコネクター(3ピン)×4、 ユーロブロックコネクター(5ピン)、 ラックマウントアダプター(短)×2、 ラックマウントアダプター用 取り付けねじ×6

改良などのため予告なく変更することがあります。

audio-technica

保証書

持込修理

型番	ATIR-R820/R840		
ご購入年月日	年	月	日
保証期間	ご購入日より 1年		
フリガナ ご氏名			
ご住所 〒	番	( )	

転載不可

●裏の保証規定を必ずお読みください。

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

www.audio-technica.co.jp/proaudio/support/

Eメール: proaudio@audio-technica.co.jp

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、  
または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ

www.audio-technica.co.jp/proaudio

142315650-01-02

ver.1 2017.02.22

ver.2 2017.06.22